校長室から‥　NO.23　R1.7.29

7月25日高校野球兵庫県予選は準々決勝。この日は春季大会優勝の神戸国際大付属高校と対戦しました。ピッチャーの藤本選手はヒットをコツコツ打たれながらも要所を締め、何とか無得点に切り抜け、迎えた4回の攻撃でヒット2本を集中させ先制に成功しました。しかしながらその裏の神戸国際の攻撃でファーストゴロイレギュラーからヒットとなり、巧みな攻撃から同点に追いつかれ振り出しに。その後長打はなかったもののコツコツとヒットを重ねられ、6回裏の攻撃で2点のリードを許す展開となってしまいました。代打攻勢で8回、9回とチャンスを作り一打同点の場面もあったのですが、最後は相手のエースに抑え込まれ悔しい敗戦となりました。スタンドを埋め尽くした40名ほどの生徒達、保護者、その他OBや卒業生の方々と必死に応援しましたが、今年の夏はベスト8で終了となりました。山本監督のコメントにもあったように勝つことを信じていただけにショックは大きかったと思います。

悔しさ胸に、成長を

社高　選手にエール

悲願の夏の優勝を目指したが高校だったが、夢は果たせなかった。試合終了後、彼を涙すナンバ甲スタンドに向かってあいさつ。約800人の高校野球ファンは、この強いだ。(中略)

同校野球部OB金長谷(27)中西隆さん(28)=川東市久米=は、エースの3年の藤本竜聖投手が指導した兵庫教育大硬式野球部で4年間まで外部講師を務めた。藤本投手のプレーを見て「今までに見たことがない中で、投げ方に他の人と違いがあり、特に腕の振りの速さ。この見先発と藤本投手は同じ腕。(後)を中心となり強いチームの優勝も夢ではなかった。きょうの悔しさを胸に、成長し引き続き後輩に向き合ってほしい」とエールを送った。(山西久二)

社、エース藤本 力尽く

準々決勝で敗り、社の山本監督は声を絞りだした。「負ける準備をしていなかった」

今大会、無失点を貫いてきた最速148㌔の剛腕本が、強打の神戸国際大付打線を抑えきれなかった。試合中盤、右手中指の爪がはがれ気味に。痛みを押して投げた八回、二塁打を浴び、暴投と犠飛で勝ち越しを許した。さらに高めの直球を痛打されたところでマウンドを降りた。

練習グラウンドには、守備や打撃に関する各選手のデータを掲示。攻守の活躍パターンをナイン自らが考えながら勝ち上がってきた。「力を出し切れた。日本一という目標は後輩に託す」。エースの表情に曇りはなかった。

(藤村有希子)

私自身、負けた気がしなかったので、気持ちを整理するのに随分と時間がかかってしまいました。選手監督は、私以上に悔しい思いは強かったと思います。野球の面白さ、難しさを随分と教えていただいたように思います。翌日、家の近くで犬を連れて散歩していると家の外に出ておられたご高齢の方から「惜しかったなぁ。応援してたんやけどなぁ。」と声をかけていただきました。地元の多くの方が応援していただいていたのだということを改めて知り、感謝の気持ちが強くなりました。残念な結果ではありましたが、本当によく頑張ってくれたと思います。選手・監督・保護者の皆様、本当にお疲れ様でした。この悔しさを胸に、秋季大会を頑張ってください。

同時期に始まっていたNHK杯全国高校放送コンテストに出場していた西村さんは、294名で行われる予選を通過して60名参加の準決勝に進出(この時点で入選)。残念ながら10名しか残れない決勝にコマを進めることはできませんでしたが、力は出し切ってくれたように思います。お疲れ様でした。

また27日からは全国高等学校総合文化祭に美術部の新井さんと東野さんが参加。自転車をモチーフにした絵とブルーベリーの形をした物入の籐細工を出品しました。グループワークなど美術に関する学習機会や交流機会もあり貴重な経験を積んできてくれそうです。

7月29日書道部顧問の浅田先生が、団扇をもって報告に来られました。加東市の祭りで本校書道部の生徒が書いた字が団扇(左記の4パターン)に貼り付けられ各1000枚配布されることになったそうです。8月7日の花火大会、31日のステラパークでの祭りそれぞれに配布されるということです。夏らしい素晴らしい字で地元の祭りに花を咲かせてくれそうです。

7月26日には兵庫県吹奏楽コンクール東播大会が開催され、本校の吹奏楽部は銀賞ということでした。3年生の皆さんはここまでを一区切りとして頑張ってくれたようです。お疲れさまでした。

前号でお伝えしたように7月27日県大会出場をかけて行われたバスケットボールの大会では、男子も県大会出場を決めたとの報告がありました。唯一の3年生森居選手の頑張りが決め手になったようです。女子とともに県大会出場おめでとうございます。

そして陸上部はいよいよ全国大会です。先週の新人大会東播地区予選では、風の条件がよくなく記録は出なかったようですが、1.2年生それぞれ頑張ったようです。県大会は8月20日からそちらも来年に向けての大会の位置づけで頑張ってください。全国大会出場者は持てる力を発揮して来てほしいと思います。

早いもので夏季休業に入り1週間が過ぎ、間もなく8月です。8月1日、2日は全国高等学校家庭クラブ研究発表大会が姫路市文化ホールで開催されます。本校が事務局をしている関係で、3年生の生活科学科の生徒たちはフル稼働をしてもらわねばなりません。私も実行委員長として参加しますが、全国から来られる家庭クラブ員の生徒と先生方が気持ちよく大会に臨んでいただけるようできる限りのことをして役割を果たしていきましょう。よろしくお願いします。